

【 第 4 9 熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和7年10月8日（水） 14：00～15：00（予定）

場 所：本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長

小川 久雄

理事（研究・グローバル戦略、産学連携担当）

大谷 順

理事（広報・ブランディング・行政連携担当）

宮尾 千加子

内 容：

1. 空腹代謝の理解に基づく生活習慣病予防戦略の開発（資料1）
大学院生命科学研究部 准教授 有馬 勇一郎
2. タイ国東南アジア広域 BCG 経済カーボンニュートラルに向けた沿岸生態系のための水熱ベースのバイオリファイナリー（資料2）
産業ナノマテリアル研究所 教授 木田 徹也
3. 熊本大学薬学部発ベンチャー「C-HASプラス」の取り組みとSIIFIC ウェルネスファンドの出資実行について（資料3）
大学院生命科学研究部 准教授 首藤 剛
4. 第14回紫熊祭の開催について（資料4）
熊本大学紫熊祭実行委員長 法学部3年 荒巻 遥平
5. その他

空腹代謝の理解に基づく 生活習慣病予防戦略の開発

熊本大学大学院 生命科学研究部

形態構築学講座准教授

有馬 勇一郎

自己紹介



有馬勇一郎

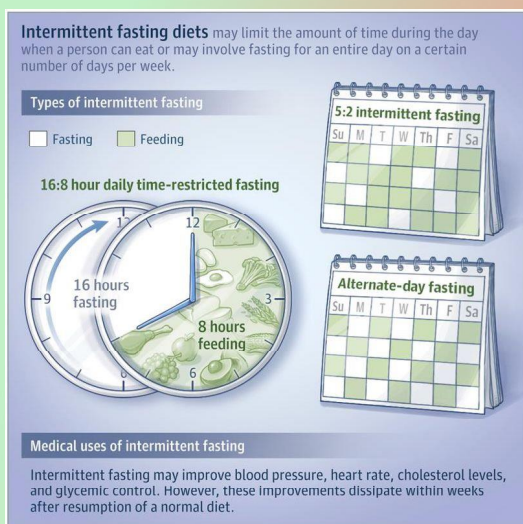
所属：生命科学研究部 形態構築学講座 准教授

資格：内科専門医・循環器内科専門医

研究テーマ：**ケトン体代謝(空腹で活性化する代謝)**

【背景】 空腹の持つ二面性：健康的な空腹と病的な飢餓

“断食”を利用した健康増進



Li and Heber, *JAMA*, 2021;325(13):1338

Developmental Origins of Health and Diseases (DOHaD) 生活習慣病胎児発症起源説



オランダの飢餓: 1944-1945
(Ref:<http://www.hongerwinter.nl/>)

解決したい課題：空腹を識り、処方する

「飲食は、過ぐれば害をなす。少なめにして足らぬと思ふ程がよし。」
貝原益軒『養生訓』（1713年）

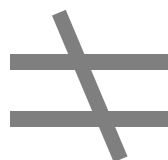
"Hunger is the best sauce."

古代ローマの諺

Aim1: 健康長寿を実現するための**最適な空腹状態**を提案する。
Aim2: 人為的に**空腹状態を誘導**する方法を提案する。

人間の空腹感は、必ずしも正しくない

空腹感・満腹感
食欲の内受容感覚
(Interoception)

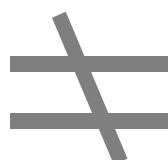


健康長寿に必要な食事
摂取量・タイミング

人間の持つ空腹感は生存するために設定された感覚で、健康長寿用には最適化されていない。

人間の空腹感は、必ずしも正しくない

空腹感・満腹感
食欲の内受容感覚
(Interoception)



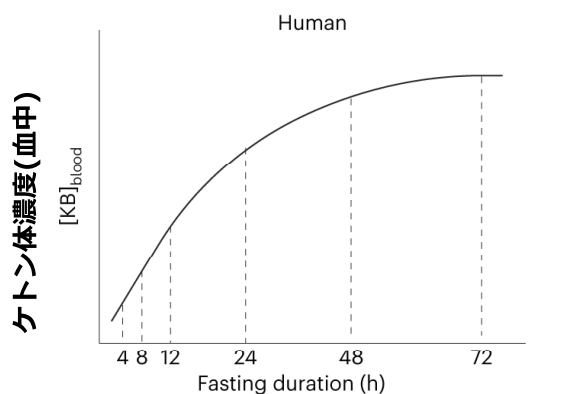
健康長寿に必要な食事
摂取量・タイミング

脳が欲する空腹感

**体が求める空腹感を
モニタリングしたい！！**

解決方法（実現を目指す技術）

ケトン体代謝： 空腹で活性化する代謝を利用する。



Nelson *Nature Metabolism* 2023

ケトン体は空腹と共に増加する

空腹状態のモニタリング

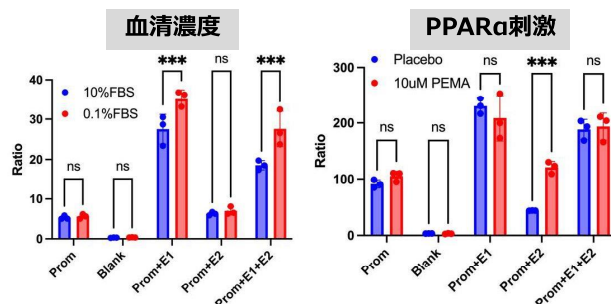
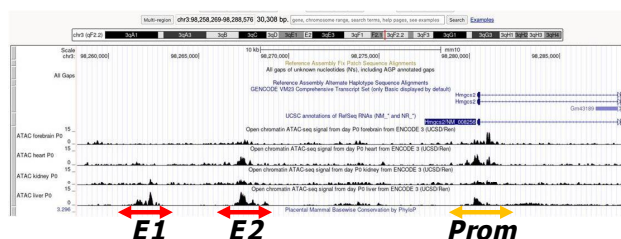
ケトン体代謝の活性を空腹状態の**ものさし**として使う

ケトン体合成強化による擬似空腹

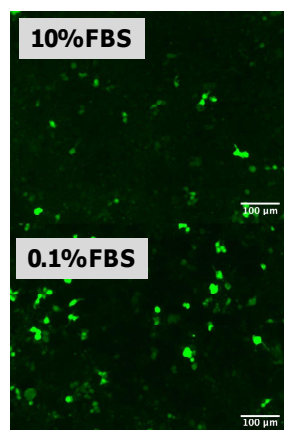
ケトン体合成を誘導することにより、空腹状態を誘導する

ケトン体合成酵素の制御領域を同定・可視化

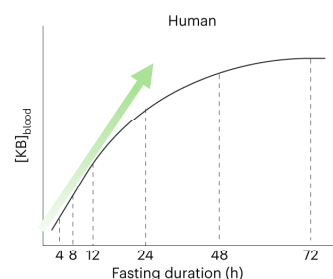
Hmgcs2のプロモーター・エンハンサー領域を同定(ヒトとマウスで共通)



Hmgcs2 GFP

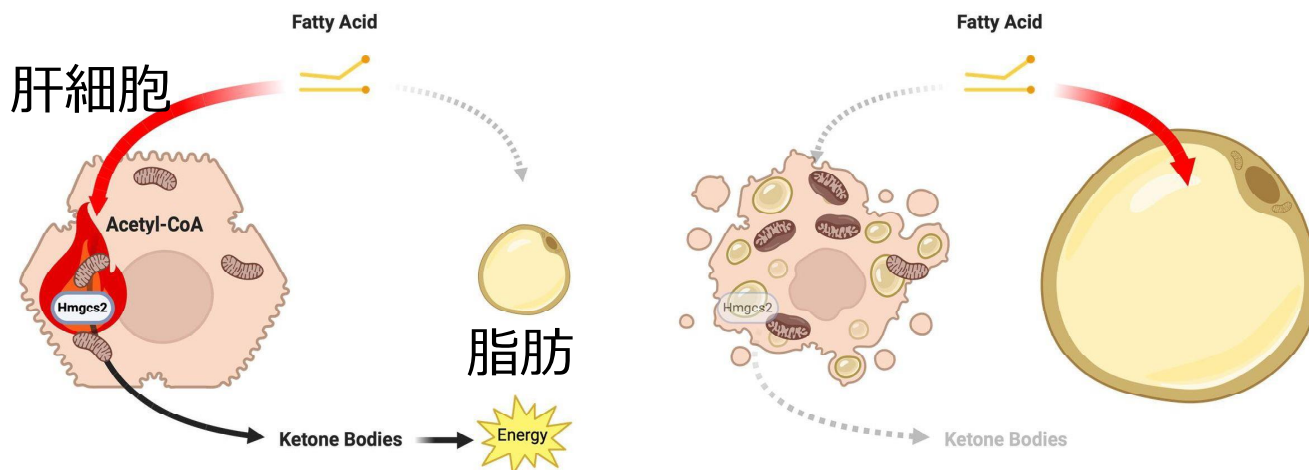


Tgマウス作成中
(空腹で**光る**マウス)



空腹状態を定義する
基準として利用

ケトン体合成酵素(Hmgcs2)の誘導

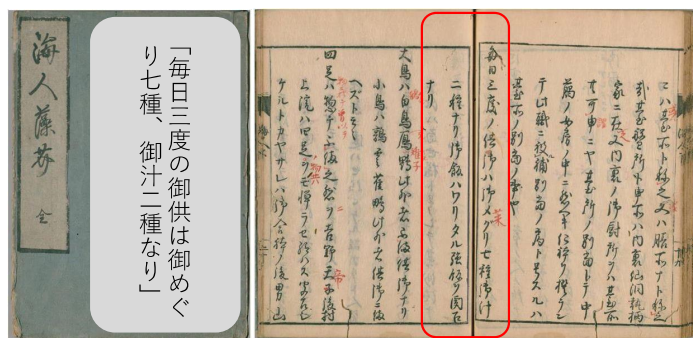


Hmgcs2を誘導することでケトン体合成を強化し、脂肪を燃やしてエネルギーに変える(空腹の誘導)

【将来展望】令和の時代でも、1日3食、食べていていいのか？

“昼ごはん(昼餉)”が生まれたのは鎌倉時代
理由は武士や農民がエネルギーを欲したため

ケトン体代謝を基準として、空腹状態の
個体差、安全域・危険域を理解する。



海人藻芥(1420): 国立国会図書館デジタルコレクション

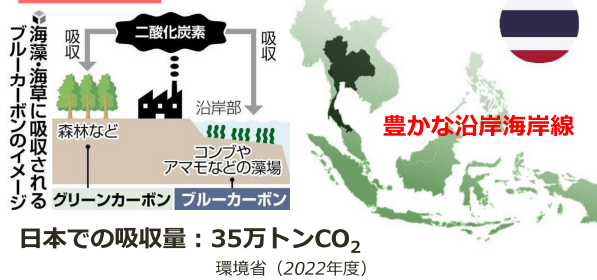
参照文献：小川直之編 「日本の食文化1」
西念幸江ら東京医療保健大学紀要 第10巻 第1号2015
平林治徳「平安時代の食生活」生活科学1949

ヒトへの応用
空腹バイオマーカー
空腹レシピ
擬似空腹

空腹の仕組みを深く理解し、現代の
多様なライフスタイルに合った新しい健康のかたちを提案します

タイ国東南アジア広域 BCG 経済カーボンニュートラルに向けた 沿岸生態系のための水熱ベースのバイオリファイナリー JST/JICA SATREPS

研究背景



検討課題

- 海藻・微細藻類培養システムの開発
- ブルーカーボン源から高価値ー生活性化合物の抽出
- "グリーン"水熱技術によるバイオマス変換
- 藻類からのグリーン燃料製造によるカーボンニュートラルへの貢献

ブルーカーボンの高い潜在的CO₂吸収能力

環境上の利点

- ・温室効果ガスの削減
- ・炭素貯留
- ・藻類の高い繁殖性

タイの地理的優位性

- ・豊かな沿岸生態系
- ・培養に理想的な気候

制経済的利益

- ・バイオ燃料用の再生可能な原料
- ・高付加価値バイオ化学製品の生産
- ・雇用創出と農村部の経済発展

政府の政策との整合性

- ・タイのBCG（生物循環グリーン）経済
- ・タイのカーボン・ニュートラル戦略
- ・ASEANの持続可能な開発目標

イノベーション効果

沿岸生態系ため水熱ベースバイオリファイナリー構想
地域のBCG経済とカーボンニュートラルの支援

最終目的

「水熱法」をコア技術として、藻場・浅場等の海洋生態系に取り込まれる所謂「ブルーカーボン」バイオマスの資源化

熊本大学 代表研究者：木田 徹也

(1)

SATREPS：地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

SATREPSについて

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

地球規模課題の解決に向け、日本と開発途上国の大学・研究機関などが推進する国際共同研究プログラム

これまで個別に取り組まれてきた活動を、JSTとJICAが協働で推進することによって相乗効果を狙ったプログラムです。

政府開発援助（ODA）資金



科学技術（競争的研究資金）

国際協力

ODA、開発援助

科学技術の振興

研究・開発、イノベーションの推進

ローカルなニーズへの対応

開発途上国においてローカルなニーズとして露見している課題への対応&キャパシティデベロップメント

グローバルなニーズへの対応

地球規模課題の解決とそれに対する科学技術コミュニティの貢献

開発途上国の能力とポテンシャル

研究フィールドや対象物、関連データや経験・知見、新たな市場・産業、グローバル・エコノミーへの貢献のチャンス

日本の能力とパワー

世界をリードする高い科学技術力とこれまでの研究実績、ソフトパワー

(2)

研究実施体制（日本一タイ）



日本側
熊本大学



タイ側
チュラロン
コン大学



Team of Japanese Experts  Prof. Dr. Tetsuya Kida Kumamoto University  Prof. Dr. Armando T. Quintan Kumamoto University  Prof. Dr. Tadefumi Adschiri Tohoku University  Dr. Motonobu Coto Super Critical Technology Centre, Co., Ltd.				Principal Investigator  Prof. Dr. Artiwan Shotipruk Chulalongkorn University	Advisor  Prof. Dr. Suttichai Assabumrungrat Chulalongkorn University	Advisor  Assoc. Prof. Dr. Prasert Pavanant Tree Moments CO., LTD.  Dr. Sorawit Pongtongsook National Science and Technology Development Agency
Cultivation Section  Assoc. Prof. Dr. Kasidit Nootong Chulalongkorn University Section lead  Assoc. Prof. Dr. Ianakorn Monshupanee Chulalongkorn University  Asst. Dr. Dichaya In-na Chulalongkorn University  Asst. Prof. Dr. Maliwan Kutako Burapha University  Asst. Prof. Dr. Pakawan Setthamongkol Burapha University  Asst. Prof. Dr. Wirote Laongmanee Burapha University  Asst. Prof. Penchan Laongmanee Burapha University	Extraction Section  Prof. Dr. Artiwan Shotipruk Chulalongkorn University Section lead  Dr. Chonlapee Ueaku Chulalongkorn University  Asst. Prof. Dr. Panatpong Boonhoun Naresuan University  Asst. Prof. Dr. Chaisak Chansrinikom Chulalongkorn University  Dr. Nopphon Weeranoppanant Chulalongkorn University  Dr. Sakollaphat Pitthakratanayothin MTEC  Dr. Kunat Suktham NANOTEC	Hydrothermal treatment Section  Assoc. Prof. Dr. Worapon Kiatkittipong Silpakorn University Section lead  Assoc. Prof. Apiluck Elad-Ua King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang  Asst. Prof. Atthapon Srifa Mahidol University  Assoc. Prof. Neeranuch Phusunti Prince of Songkla University  Asst. Prof. Santi Chuetor King Mongkut's University of Technology North Bangkok	Techno-economic assessment Section  Assoc. Prof. Dr. Pongtorn Charoensuppanimit Chulalongkorn University Section lead  Dr. Bushra Chalermthai Chulalongkorn University Project Coordinator  Dr. Treerat Vacharanukrauh Chulalongkorn University			

(3)

ブルーカーボン（藻類）からの有価化合物の抽出と製品化

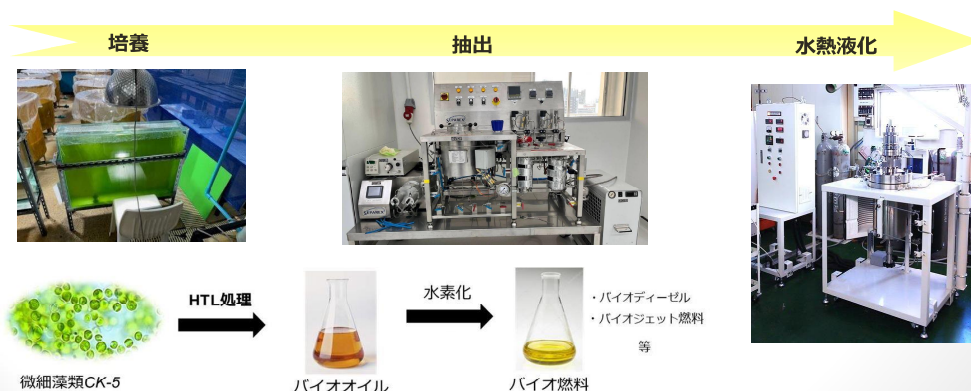
目的：藻類からの有用化合物の抽出と製品化

藻類は、脂質・糖質・タンパク質を豊富に含み、以下のような高付加価値化合物の供給源になり得る：

- ・脂溶性：カロテノイド類（アスタキサンチン、β-カロテン）、脂肪酸、ビタミンE
- ・水溶性：アミノ酸、ペプチド、多糖類
- ・高温反応生成物：フェノール類、ピリジン系窒素化合物、フルフラールなど

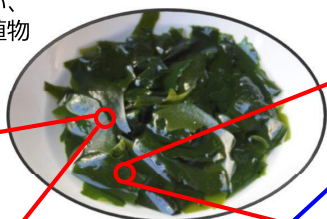
比較表：超臨界CO₂抽出 vs. 水熱液化（HTL）

抽出手法	超臨界CO ₂ 抽出	水熱液化（HTL）
主な目的	天然化合物の穏やかな抽出	熱分解によりバイオオイルと有機化学品の生成
抽出対象	脂溶性・熱に弱い成分	熱安定性のある複雑な有機化合物
対象成分	アスタキサンチン、カロテノイド、脂肪酸、ビタミンE	フェノール類、窒素化合物（ピロール、インドール）、フルフラール、脂肪酸
操作温度・圧力	35–80℃、7.4–40 MPa	200–350℃、10–30 MPa
溶媒	CO ₂ （非極性）	水（極性、亜臨界状態）

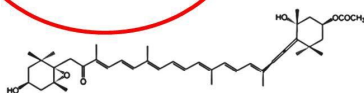


(4)

花を咲かせない、
典型的な水生植物



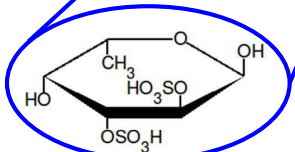
わかめ



フコキサンチン
(海洋性カロテノイド)

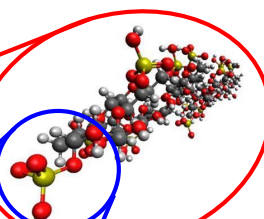
抗酸化剤、抗炎症剤、抗がん剤、抗肥満剤、抗糖尿病剤、抗血管新生剤、抗マラリア剤

試薬価格：30,300 円/10 mg

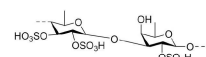


フコース
(糖類)

他の有用な生活性化学物質の前駆体



フコイダン
(多糖類)



抗凝固作用、抗血管新生作用、抗がん作用、抗腫瘍効果

試薬価格：90,600 円/g

(5)

熊本大学
Kumamoto University

共同研究のサイト調査



藻類培養研究実験室の状況
(チュラロンコン大学)



薬学部ラボ設備の状況
(チュラロンコン大学)



藻類養殖実証に使用予定の池
(ブラバ大学)



ブラバ大学市内水産養殖試験場
(ブラバ大学)

JICA/チュラロンコーン大学とのODA調印式 2025年9月11日



ミニッツ署名式風景①



ミニッツ署名式風景②

(6)

ご清聴ありがとうございました。

[7]

2025年10月8日（水）
熊本大学学長記者懇談会

熊本大学薬学部発ベンチャー 「C-HASプラス」の取り組みと SIIFICウェルネスファンドの 出資実行について



熊本大学大学院生命科学研究部
附属グローバル天然物科学研究センター / 准教授
株式会社C-HASプラス / 取締役社長COO

首藤 剛



Take Home Message



熊本から——

- ・ 社会課題解決型エコシステム × 大学伴奏型ベンチャーで、国費に依存しない産学連携を常態化し、レジリエントでサステイナブルな運営を目指す。
- ・ UpRod継承ベンチャー株式会社C-HASプラスを起点に、研究の継承・地域産業の活性化・人材循環を実現する。
- ・ 同時に、大学発技術の有効活用により「自然と生命が調和する健康社会を共に創る」というビジョンの達成を目指す。

天然物資源の保全と

応用科学を通じて、

自然生態系と人々の健康が

Watanabe © 2007-2010

地域イノベーション・エコシステム形成プログラム 有用植物×創薬システムインテグレーション 拠点推進事業 (UpRod) (2017-2021)

Watanabe © 2007-2010

創薬を含む健康産業の発展に寄与し、
グローバルな健康社会の
形成に貢献し続ける。

We contribute to 1) Conservation and preservation of useful



熊本大学で実施してきたユニークな天然物もの・こと作り事業 UpRod (2017-2021)

5

2016年熊本地震後、産業の復興を願い、熊本大学では、2017年、文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラムに採択され、**天然物創薬 (もの・ことづくり) エコシステム事業 UpRod** を推進。薬学・天然物に関わる技術・人材育成基盤が構築され、さまざまな事業体が集積する**エコシステムの形成を実現した (2017-2021)。**

つながり、広がる…ビジネスとアカデミアの連携

数字で見るUpRod



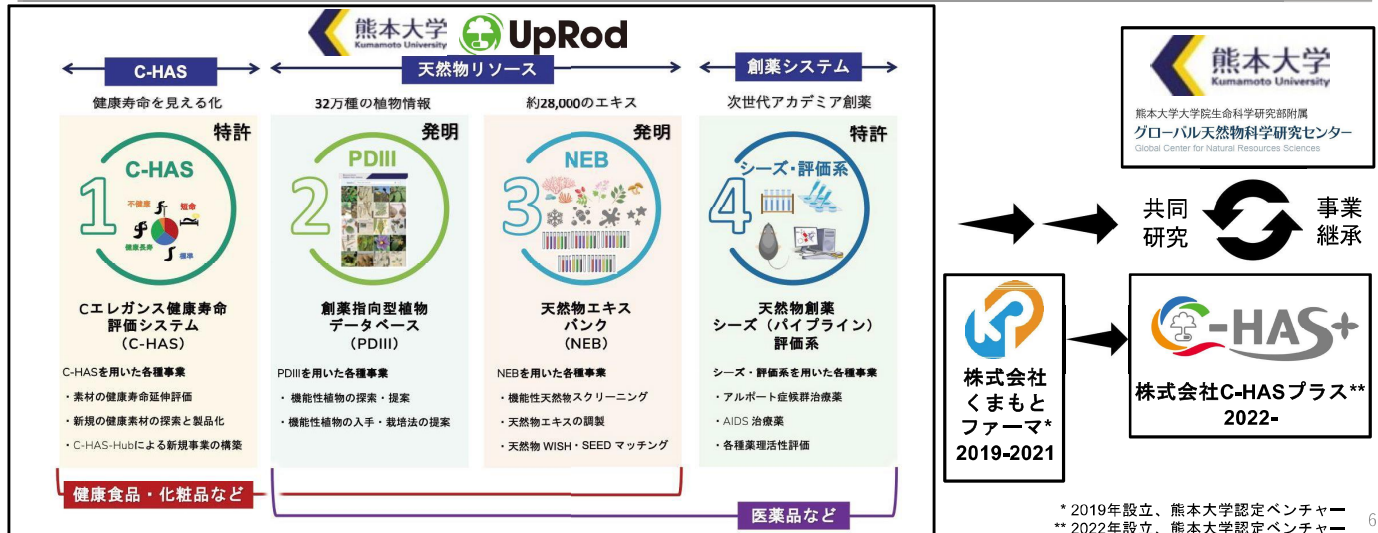
UpRod
YouTube

* 首藤は、当該事業のPM、兼、研究者として参画。

5年間の事業総額 約10億円 (約2億円×5年)	収集した天然物 エキスバンク数 約28,000 真露・放線菌・乳酸菌、 海洋生物、 植物・キノコ・香り	プロジェクト チーム数 12チーム S-OS(スクリーニング)、 H/HIV、K(抗がん剤)、 A(アミロイド)、N(NPC)、 CV19(COVID19)、 M(神経系)、FD(肥満)、 Fv(免疫系)、C(癌)、 UP(有用植物)	企業面談数 (総数) 100社以上 製薬、健康食品、 化粧品、各種ベンチャー	関連研究者数 約50名 内、専任雇用 約10名
公的・外部資金 獲得金額 (総額) 約2億円 科研費、AMEDなど	創業志向型植物 データベース 収載数 約32万種 伝統・伝承・用途情報 ・最新論文リンクあり	関連論文数 55報以上	企業共同研究数 40社以上 製薬、健康食品、 化粧品、各種ベンチャー	総会議数 100回以上 運営会議、戦略会議、 PD-PMO会議など
企業等外部資金 獲得金額 (総額) 6億円以上 共同研究費、学費コンサールなど	創業スクリーニング 実施数 約5,000~ 15,000 AIDS、腎臓病、 アミロイド病	関連特許数 40件以上	訪問・連携国 15か国以上 カンボジア、タイ、フィリピン、 オーストラリア、エジプト、 スウェーデン、サウジアラビア、 グアテマラ、コロンビア、 モリコなど	シンポジウム等 講演・開催数 30回以上 キックオフシンポジウム、 公開シンポジウム、 学会シンポジウム、 アフリカ開発会議 (TICAD7) ポストフォーラム スタートメント策定・発表
設立ベンチャー 数 2社 株式会社くまもとファーマ、 株式会社C-HASプラス	創業 パイプライン数 7種類 AIDS、腎臓病、 アミロイド病、 ニューマンピク病C型	ビジネスピッチ 受賞数 5回 経産省、学会、 バイオテックなど	アカデミア関連 包括連携等 5件 宮崎大学、鹿児島大学、 牧野植物園、専攻大学、 富山大学 和漢医薬総合研究所	プレス発表数 15件以上

UpRodで生み出された特許技術・発明とその継承

UpRod事業から、天然資源に関する**技術・発明 (C-HAS, PDIII, NEB)** が誕生。その後、**大学院生命科学研究所附属グローバル天然物科学研究センター (GCNRS)** (2019-) を設置しつつ、**株式会社くまもとファーマ** (2019-2021) を設立。2022年には、当該技術を継承し、**医薬・食品・化粧品分野との産学連携を加速するハブ機能を維持するため大学発ベンチャー株式会社C-HASプラス** (2022-) を設立した。



* 2019年設立、熊本大学認定ベンチャー
** 2022年設立、熊本大学認定ベンチャー

6

株式会社C-HASプラス

「自然と生命が調和する健幸社会を共に創る」というビジョンの下、2022年、**株式会社C-HASプラス**を設立。UpRodが蓄積してきた技術・ノウハウを継承し、**医薬・食品・化粧品分野との産学連携を加速するハブ機能を担い、エコシステム型の事業展開を目指す熊本大学認定ベンチャー**である。UpRod アドバイザー、PM、研究者で構成する充実の顧問体制を敷き、**OJT型有償インターンシップ**を実施することで、大学生・大学院生に対しても**実践的な学びの機会を提供し、人材育成にも積極的**である。

・ビジョン
自然と生命が調和する健幸社会を共に創る

・ミッション
クルエルティフリー*の実現を目指すリーディングカンパニー

- 実験動物代替モデル生物を活用した研究開発
- 天然資源を活用した健幸産業への貢献
- 健幸社会に貢献する次世代人材の育成

*クルエルティフリー「残酷性(cruelty)がない(Vfree)」と言う意味。医薬品、化粧品、食品の開発において、愛玩動物を用いた試験が行われていないことを表す。

経営 (取締役)

ビジネス・組織 代表取締役、CEO 菊池 正彦、博士 (薬学) 熊本大学 客員教授 (株)NISM プランニング 代表取締役 UpRod 事業プロデューサー 東京大学 特任教授	Cエレガンス技術 取締役社長執行役員、COO 篠原 剛、博士 (薬学) 熊本大学 准教授 UpRod プロジェクトマネージャー	薬理学・ビジネス 取締役執行役員、CSO 甲斐 広文、博士 (薬学) 熊本大学 准教授 UpRod 創薬プロデューサー (株)GALTS Pharma 代表取締役 CEO 東海大学 客員教授	ビジネス・インパクト評価 取締役 CFO 兼 CIO 梅田 和恵 SIFインパクトキャピタル株式会社 代表パートナー
---	--	--	---

監査役・顧問

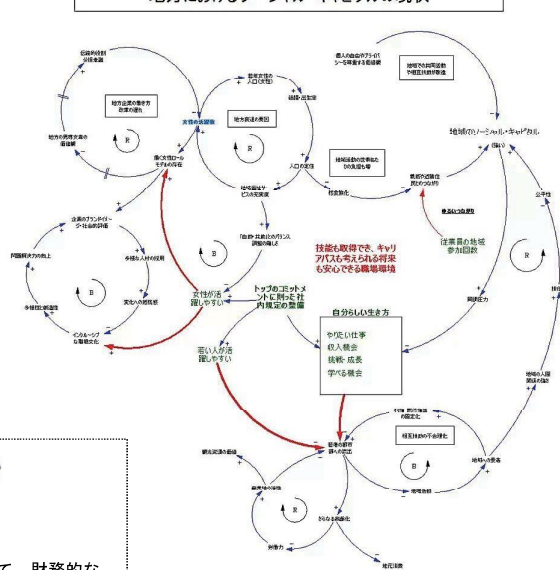
ビジネス・経営 監査役 上野 真真 MBA (ハーバード大学) 株式会社 同人社団グループ 代表取締役 DOHN CAPITAL CMO	ビジネス・薬学視点 顧問 三好 俊美 株式会社ファン・バップ 代表取締役社長 株式会社PF Capital アドバイザー	マネジメント・薬学視点 技術顧問 本山 敬一、博士 (薬学) 熊本大学 教授 UpRod プロジェクトマネージャー	天然物・創薬 技術顧問 三橋 将吾、博士 (薬学) 熊本大学 教授 グローバル天然物科学研究センター センター長 UpRod プロジェクトマネージャー
植物データベース・植物エキス 技術顧問 和田 美貴代、博士 (環境学) 熊本大学 客員准教授 UpRod 研究者	微生物エキス 技術顧問 人庭 勇気、博士 (農学) 熊本大学 准教授 UpRod 研究者	植物・薬草栽培 技術顧問 渡邊 将人、博士 (農学) 熊本大学 技術専門職員	専任社員 (2025年6月現在) 小沢、光武、林 3名 OJT型有償インターンシップ学生 2022年度 4名 2023年度 7名 2024年度 7名* *うち1人は、崇城大学学生

* OJT (On the Job Training) 型有償インターン制度: 学生が実務を通じてスキルを習得しながら報酬を得る仕組みで、文科省や経産省なども産学連携による実践的人材育成策として推進している。

7

- 地方の若者流出と専門職不足、つながりの希薄化に対し、SIIFICウェルネスファンドは熊本発の大学密着型ベンチャーC-HASプラスへ創業投資。
- 「雇用の質」を軸に、資金・経営支援・インパクト測定を三位一体で提供し、KPIをデジタル庁の地域幸福度指標に連動し、評価可能性を高める。
- 多様な人材（専門人材・若者・女性・外国人）の採用を促し、地域とのつながりを再構築。
- 有償インターンや若手・女性研究者のロールモデル創出で“研究を続けて働ける場”を拡張し、研究起点の事業化と地域イノベーションを加速する—熊本に研究でキャリアを築ける選択肢を。
- 地域全体のウェルネス向上と持続可能な成長に資する。今後、KPI達成状況や事業成長を鑑み、段階的な出資や他VCの参画の呼び込みも視野に入れた投資実行である。

地方におけるソーシャル・キャピタルの現状



インパクト投資: 財務リターンを追いながら、意図的に“測定可能な”社会・環境インパクトを生み出すことを目的に行う投資。

8

SIIFインパクトキャピタル株式会社

設立日: 2022年9月8日

代表者: 梅田和宏・三浦麗理

事業内容: インパクト投資ファンドの運用

運用中ファンド: SIIFIC ウェルネス投資事業有限責任組合

SIIF* のミッションを実装する投資運用会社（インパクトVC）として設立。ウェルネス領域において、財務的なリターンと並行してポジティブで測定可能な社会的・環境的なインパクトを同時に生み出すことを意図している、革新的なスタートアップ企業の支援を行う。

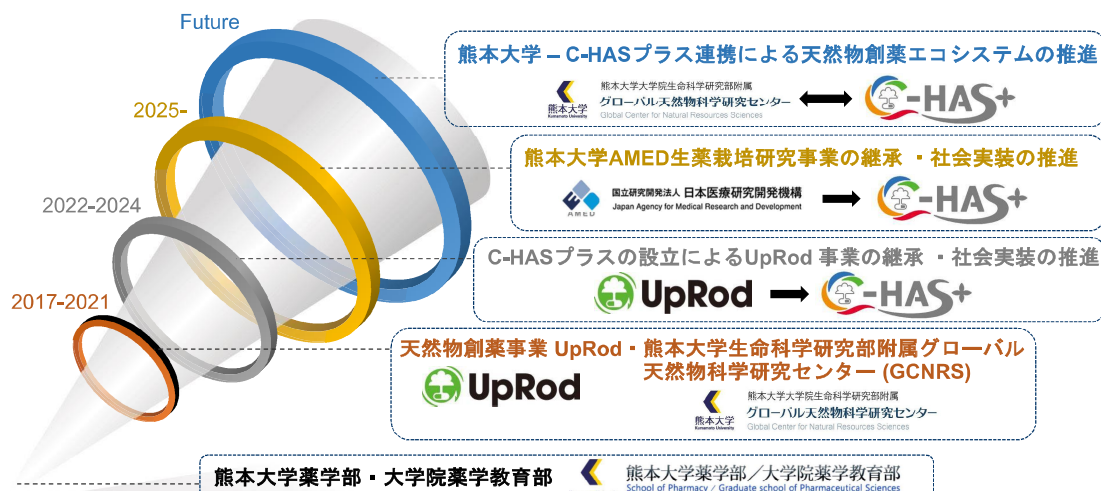
*SIIF: インパクト投資の普及、IMM（インパクト測定・マネジメント）や人材育成を担う財団。

SIIF Impact Capital



将来展望

C-HASプラスは「自然と生命が調和する健康社会を共に創る」というビジョンの下、大学発ベンチャーとしての独自性を活かし、その理念にふさわしいインパクト投資を積極的に活用する。リスク・リターンに加える第3軸（インパクト）を指標化し、地方創生への貢献を加速していきたい。今後は、UpRod事業の継承に加え、熊本大学と連携してAMED事業（チャイナリスクに備えた生薬栽培研究）の継承にも着手する。大学伴奏型ベンチャーとして、国費に依存しない産学連携を常態化し、レジリエントで持続可能な大学運営を目指す。



9

熊本から――

- 社会課題解決型エコシステム × 大学伴奏型ベンチャーで、国費に依存しない産学連携を常態化し、レジリエントでサステイナブルな運営を目指す。
- UpRod継承ベンチャー株式会社C-HASプラスを起点に、研究の継承・地域産業の活性化・人材循環を実現する。
- 同時に、大学発技術の有効活用により「自然と生命が調和する健幸社会を共に創る」というビジョンの達成を目指す。

熊本大学、株式会社C-HASプラスの新たな挑戦に、ご指導・ご支援をお願いします。

SIIFICウェルネスファンド、熊本大学発ベンチャー・C-HASプラスに出資

～地域社会のつながりを育む持続可能な事業支援～

一般財団法人社会変革推進財団

2025年8月26日 14時00分



一般財団法人社会変革推進財団（理事長：大野 修一、所在地：東京都港区、以下、「SIIF」）は、SIIFインパクトキャピタル株式会社（代表取締役：梅田和宏・三浦麗理、所在地：東京都渋谷区、以下、「SIIFIC」）と、共同で運営するSIIFIC ウェルネス投資事業有限責任組合（以下、「SIIFICウェルネスファンド」）を通じ、2025年8月13日に、熊本大学発ベンチャーの株式会社C-HASプラス（代表取締役CEO：菊池 正彦、取締役社長 COO：首藤 剛、所在地：熊本県熊本市、以下、「C-HASプラス」）が実施する第三者割当増資を引き受けました。

C-HASプラスの原点は、熊本地震の翌年にあたる2017年度に、熊本大学と熊本県が文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」に採択されたことにあります。現在の主力事業は、動物実験の代わりに線虫（Cエレガンス）を用い、食品や薬品の素材が健康寿命にどう影響するかを解析するサービスです。Cエレガンスはわずか30日間の寿命ながら、神経・腸管・筋肉といった器官を一通り備えた生きものです。Cエレガンスの一生を人間の一生に見立てて素材の健康への影響を数値化する、世界初の健康寿命評価システムを開発しました。これにより、マウスなどの動物実験を減らし、短期間で高品質のデータを取得することができます。

投資の背景：地方での雇用創出と「いきいきとした暮らし」の実現

SIIFICウェルネスファンドは、4つの投資テーマのひとつに「地方にて雇用を創出し、いきいきと暮らせる環境を創出するスタートアップ」への投資を掲げています。地方では若者の都市部への流出や少子高齢化が進む一方で、地域社会を支える人材が減少し、地域のつながり（ソーシャルキャピタル）が希薄化しつつあります。特に、若年層が専門性やキャリアを身につけられる職場環境の不足が、さらなる人口流出に拍車をかけています。こうした社会課題に対し、SIIFICウェルネスファンドは「雇用の質」に着目。専門人材や若者、外国人、女性といった多様な人材を積極的に採用し、地域とのつながりを深め、地域全体のウェルネス向上に貢献するC-HASプラスへの出資を決定しました。今回の投資を通じて、地方における専門人材の確保・定着を支援し、誰もがよりよく生きられる地域社会の実現を目指します。

SIIF公式ブログ

[健幸社会に貢献するC-HASプラス社が拓く、熊本の若き研究者の活躍の場](#)

SIIFICウェルネスファンドニュースレター

[地域の豊かさを育むC-HASプラス社：熊本における「教育・雇用・帰属」のエコシステム](#)

投資判断のプロセス

SIIFICウェルネスファンドでは、下記のプロセスに基づき投資判断を実施しました。

1. システム分析の実施（図1）： C-HASプラスが地域社会に与える影響を多角的に評価しました。
 - ・多様な雇用機会の創出：専門人材、外国人、若者、女性を積極的に雇用することで、地域の活性化と社会的包摂を促進。
 - ・地域社会との連携強化：地域住民が誇りを持って働ける環境を提供し、豊かなソーシャルキャピタル（社会的つながり）を醸成。
2. Theory of Change(ロジックモデル)の構築（図2）：

C-HASプラスの 地域社会に与える影響を3段階で可視化しました

 - ・短期：地域における雇用の創出
 - ・中期：自分らしい生き方、いきいきとした働き方を後押しする職場環境の実現
 - ・長期：地域における豊かなソーシャルキャピタルの醸成

地方におけるソーシャル・キャピタルの現状

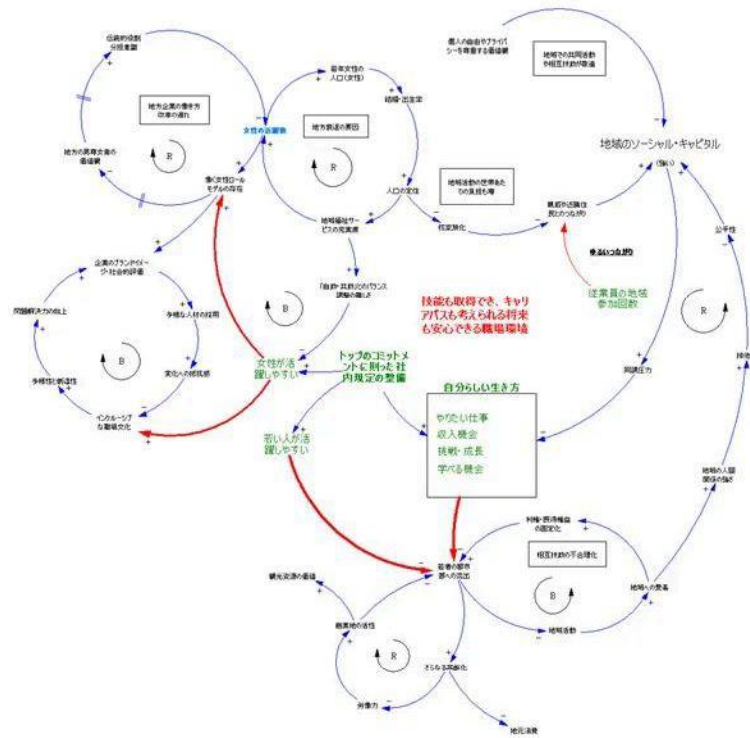


図1：地方にて雇用を創出し、いきいきと暮らせる環境を創出するスタートアップ

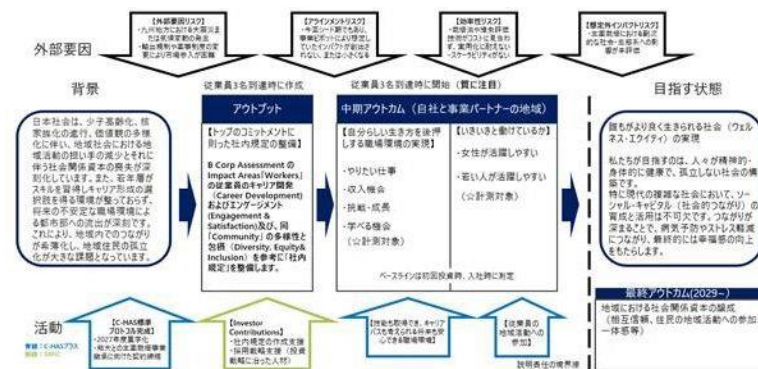


図2：Theory of Change

SIIFICウェルネスファンドの投資テーマ *本件は4に該当

1. 安心できる医療のデフォルトスタンダードとなる得る製品、サービス
2. 前向きかつ多様な活動、ライフスタイルへの取り組みを促す製品、サービス
3. 独立したそれぞれの個人がゆるく繋がる製品、サービス
4. 地方にて雇用を創出し、いきいきと暮らせる環境を創出する可能性があるスタートアップ

株式会社C-HASプラス代表取締役CEO：菊池 正彦氏のコメント

当社C-HASプラスは、熊本大学および熊本県が取り組んだ地域イノベーション・エコシステム形成プログラムUpRodを契機として誕生いたしました。私自身、熊本大学の出身として、これまで大学に蓄積された技術や知見を社会実装し、民間企業とともに新たな価値を共創することの重要性を強く感じてまいりました。C-HASプラスは、熊本発の独自技術により、動物実験に代わる革新的な健康寿命評価システムを開発し、世界に先駆けて提供しております。

今回のご支援を機に、地域から新たな雇用や挑戦の機会を創出し、若者や専門人材が安心して活躍できる環境づくりを推進してまいります。今後も、アカデミアと民間の架け橋となり、C-HASプラスの技術を多くの企業や自治体とともに社会実装し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

株式会社C-HASプラス取締役社長 COO：首藤 剛氏のコメント

私はこれまで熊本大学での研究活動に加え、UpRodのプロジェクトマネージャーとして、大学発コア技術であるC-HASの確立と社会実装に尽力してまいりました。また、熊本大学生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター所属研究者として、天然物探索事業の推進および産業

応用にも積極的に取り組んでおります。

C-HASプラスの成長は、研究者の知見と地域企業・自治体との連携によって実現してきたものと考えております。今回のご支援を契機に、さらに多様な専門人材や若手、女性、外国人の方々にも活躍いただける環境を整備し、熊本発の先端技術が地方創生や地域ウェルネスの実現につながるよう、今後も全力を尽くしてまいります。

支援方針

今後、SIIFICウェルネスファンドは、C-HASプラスに対し、ベンチャーキャピタルとしてのハンズオン支援に加え、B Corp認証基準（米国の非営利団体B Labが運営する国際認証制度で、社会や環境への配慮、透明性、説明責任などの厳格な基準を満たした企業に与える）を参考とした社内規定整備を支援する予定です。これは、社会・環境への配慮や説明責任、透明性を担保する経営体制の構築を目指すもので、多様な人材が地方で活躍できる企業基盤づくりを支援します。

また、これまで蓄積してきた知見を活かし、ウェルネス領域のシステムチェンジを目指すインパクト投資やインパクト測定・マネジメントの実践を通じて、誰もがよりよく生きられる社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

【株式会社C-HASプラス】

設立：2019年4月1日（株式会社くもとファーマとして）

所在地：（本社）熊本県熊本市中央区大江本町5番1号産業イノベーションラボラトリー301号

従業員：3名

代表取締役CEO：菊池 正彦、取締役社長 COO：首藤 剛

株式会社C-HASプラス（2022-）は、熊本大学での地域イノベーション・エコシステム形成プログラム UpRodが蓄積してきた技術・ノウハウ（線虫健康寿命評価技術、創薬志向型有用植物データベース、オリジナル天然物エキスパンク）を継承し、医薬・食品・化粧品分野との産学連携を加速するハブ機能を維持し、エコシステム型の事業展開を目指す熊本大学認定ベンチャーである。UpRod研究者やビジネス・投資目線を有するメンバー、さらには、有望な学生インターンシップ生のコラボレーションで各種事業を推進中です。

<https://c-hasplus.co.jp/>

【社会変革推進財団（SIIF）】

2013年より日本財団内においてインパクト投資に関する調査研究に着手し、日本財団から助成金を受けて、2017年社会的投資推進財団として設立されました。その後、2019年社会変革推進機構と合併し、社会変革推進財団となりました。GSG国内諮問委員会の設立や賛同メンバーの招集や、インパクト投資における提言書や現状を記した報告書の発行、金融庁との共催で金融機関等との勉強会の開催などインパクト投資の推進のための活動をしています。様々な社会課題が山積する日本において、自助・公助・共助の枠組みを超え、社会的・経済的な資源が循環する社会の実現を目指し活動をしています。

<https://www.siif.or.jp/>

【SIIFインパクトキャピタル株式会社（SIIFIC）】

会社名：SIIFインパクトキャピタル株式会社

設立日：2022年9月8

代表者：梅田和宏・三浦麗理

事業内容：インパクト投資ファンドの運用

運用中ファンド：SIIFIC ウェルネス投資事業有限責任組合

ウェルネス領域において、財務的なリターンと並行してポジティブで測定可能な社会的・環境的なインパクトを同時に生み出すことを意図している、革新的なスタートアップ企業の支援

<https://siifc.co.jp/>

このプレスリリースには、メディア関係者向けの情報があります

メディアユーザーログイン

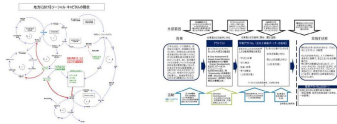
既に登録済みの方はこちら

メディアユーザー新規登録

無料

メディアユーザー登録を行うと、企業担当者の連絡先や、イベント・記者会見の情報など様々な特記情報を閲覧できます。※内容はプレスリリースにより異なります。

すべての画像



種類

経営情報

ビジネスカテゴリ

証券・FX・投資信託

財団法人・社団法人・宗教法人

キーワード

SIIF

社会変革推進財団

SIIFIC

C-HASプラス

ウェルネスファンド

インパクト投資

ダウンロード

↓ プレスリリース素材

このプレスリリース内で使われている画像ファイルがダウンロードできます

[トップ](#) > [プレスリリース](#) > [一般財団法人社会変革推進財団](#) > [SIIFICウェルネスファンド、熊本大学発ベンチャー・C-HASプラスに出資](#)

会社概要



一般財団法人社会変革推進財団

15フォロワー

フォロー



RSS

URL

<https://www.siif.or.jp/>

業種

財団法人・社団法人・宗教法人

本社所在地

東京都港区赤坂1-11-28 6F

電話番号

03-6229-2622

代表者名

大野修一

上場	未上場
資本金	-
設立	2000年09月

トレンド情報をいち早くお届け

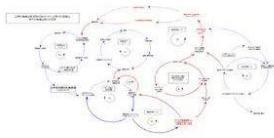
PR TIMESを友達に追加

PR TIMESのご利用について

資料をダウンロード

プレスリリース

もっと見る



SIIFICウェルネスファンド、 Personal Health Techに出資

2025年10月2日 10時00分



SIIF、近畿四国地域におけるソーシャル インパクトファンドへLP出資

2025年9月9日 11時00分



社会変革推進財団とインパクトスタート アップ協会による初の共同アンケー ト調査を実施

2025年6月30日 11時00分



ジェンダー・ダイバーシティの“見 え構造”に迫る課題構造分析を公表

2025年6月20日 11時00分

会社概要

プライバシーポリシー

利用規約

報道関係者からのお問い合わせ

企業様からのお問い合わせ

一般の皆様からのお問い合わせ

Copyright © PR TIMES Corporation All Rights Reserved.



第十四回紫熊祭

【開催テーマ】

テーマ：『1TIME4EVER』

「1TIME（＝One Time）」は、一度きりの特別な瞬間を。「4EVER（＝Forever）」は、永遠の思い出となるような体験を意味しています。つまり、第一四回紫熊祭が永遠に語り継がれるくらいに、過去一の盛り上がりにしたいという思いが込められている。

【開催日程】

令和5年11月2日（日）～11月4日（火）

【開催形態】

対面開催

【開催場所】

熊本大学黒髪北キャンパス

【入場方法】

自由

【目玉企画】

日時	イベント名	企画内容	場所
11月2日（日） 15:30～16:30	杉本琢弥ライブ	杉本琢弥さんをお呼びし 観覧無料で1時間程度の アーティストライブや トークショーを行う。	メインステージ
11月2日（日） 19:00～20:00	熊大コレクション 2023	熊本大学学生男女 によるファッションシ ョー	メインステージ
11月3日（月・祝） 14:00～15:00	紫熊祭お笑い ステージ 2025	お笑い芸人による お笑いライブ	メインステージ
11月3日（日） 17:30～19:30	夜の筋肉祭り	筋肉自慢の参加者 による筋肉王を決 める祭り	武夫原グラウンド
11月4日（火） 10:00～11:45	熊大コンテスト 2025 ミスター部門	熊本大学男子学生 5人による第十四回 ミスター熊大をかけ たコンテスト	メインステージ

11月4日(火) 11:00～11:45	Miss Group Kumadai 2025	熊本大学女子学生 2組による第十四回 ミス熊大をかけ たコンテスト	メインステージ
11月4日(火) 16:10～16:50	紫熊祭 LIVE 2025 「1TIME 4EVER」	3人組若手バンド 「berry meet」をお呼びし、 観覧無料で1時間程度の ライブを行う。	メインステージ
11月4日(火) 18:30～20:00	フィナーレ 2025	ミスミスター熊大結 果発表や紫熊祭を 締めくくるフィナーレ	メインステージ

【注意事項】

- ・ キャンパス内では全面禁煙
- ・ キャンパス内にアルコール類持ち込み禁止、飲酒禁止
- ・ 食事後のごみ捨て、分別

【お知らせ】

- ・ 第十四回紫熊祭では、公式 X、Instagram で最新の情報を更新しているのでチェックしてほしい

第十四回紫熊祭オンライン公式サイト

<https://www.sigmafes.com>

令和7年10月8日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 報告 1

古代ギリシア劇場の謎に迫る！

古代地中海の建築遺跡

考えぬいた劇場は
わたしのすべてだよ！



まちなか
キャンパス

2025 10.15^{WED} - 21^{FRI}

蔦屋書店 熊本三年坂
(地下1階 イベントスペース)

TALK EVENT

10.18^{SAT}
14:00-15:00

要申込
参加無料

定員 30名(先着順)

※定員に空きがある場合には、当日参加も受け付けます。

申込方法 QRコードまたはお電話にて
お申し込みください。

最高の演劇のための
最高の劇場を造りたい！



「動く舞台装置から伝わる
古代ギリシア人の劇場建築にかける情熱」

吉武隆一 准教授 大学院先端科学研究部(工学系)



蔦屋書店
熊本三年坂

熊本大学×ニューコ・ワン株式会社共同企画

申し込み・問い合わせ先

熊本大学総務部総務課広報戦略室
TEL:096-342-3269

令和7年10月8日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 報告 2

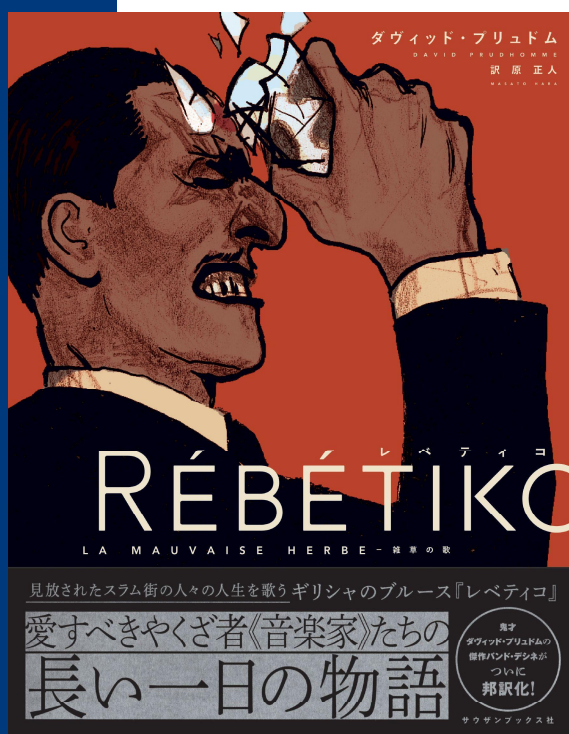
熊本大学ブルゴーニュ・ヨーロッパ大学大学間交流協定記念イベント

bande dessinée
フランス

バンド・デシネは、フランスやベルギーをはじめとする
フランス語圏のマンガです。

バンド・デシネ 展

芸術大国のマンガたち



2025 10.22^{WED} - 28^{FRI}

蔦屋書店 熊本三年坂 (地下1階 イベントスペース)

TALK EVENT 10.25^{SAT} 15:00-16:30

「海外マンガ翻訳出版奮闘記」



原 正人 フランス語翻訳家
早稲田大学非常勤講師
大妻女子大学短期大学部非常勤講師



池川佳宏 准教授
熊本大学文学部附属
国際マンガ学教育研究センター
兼務教員

当日はブルゴーニュ
ワインの試飲会を
予定しています！

要申込
参加無料

定員

30名(先着順)

※定員に空きがある場合には、
当日参加も受け付けます。

申込方法

QRコードまたは
お電話にて
お申し込みください。



蔦屋書店
熊本三年坂

熊本大学×ニュー・ワン株式会社共同企画

協力: Université Bourgogne Europe

熊本大学文学部附属 国際マンガ学教育研究センター
熊本大学大学院人文社会科学部(文学系)

申し込み・問い合わせ先

熊本大学総務部総務課広報戦略室
TEL:096-342-3269

